

9月全学連大会へ!

全学連(斎藤郁真委員長) 書記局通信

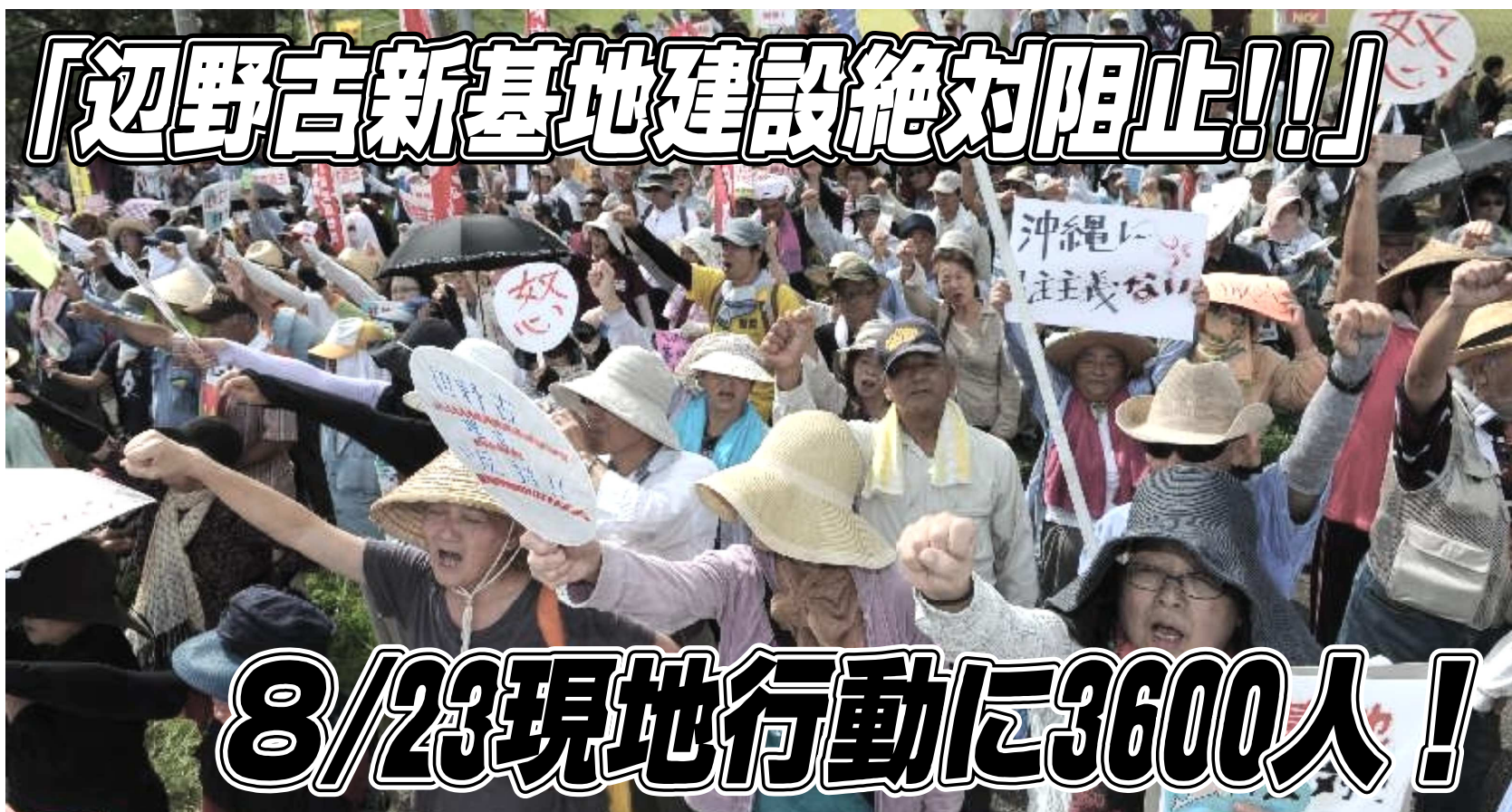
2014年8月25日
No.216

Tel 03-3651-4861

mail_cn001@zengakuren.jp

http://www.zengakuren.jp/

「辺野古新基地建設絶対阻止!!!」



8/23現地行動に3600人!

【8・23報告 沖縄大学学生自治会委員長・赤嶺知晃】

8月23日、キャンプ・シュワブ第一ゲート前で辺野古基地建設に反対する県民集会が開かれ、沖縄大学学生自治会の執行部メンバーも沖大旗を押し立てて参加しました。

集团的自衛権行使容認と同時に基地建設工事に着手した安倍政権は、全土で怒りが高まる中、ついに18日に辺野古沖の海底を掘削するボーリング調査を開始しました。海上保安庁のボートを大量に動員し、むき出しの国家暴力で阻止行動を抑え込む中での強行です。埋め立てを承認した仲井真県知事もすべてを黙認し、加担しています。絶対に許せません! 集会は、こうした状況に怒りを爆発させた人々が大結集し、基地建設阻止を決意する大集会になりました。



沖大自治会ノボリを高々掲げ、
赤嶺委員長と執行部の仲間も合流!

【全学連第75回定期全国大会】

◆安倍政権たおそう! ◆全国大学に自治会を!

◆法大文化連盟委員長・武田君を取り戻そう!

9月3日(水)~4日(木) 東京・浜町区民館にて

参加費用=1000円(会場代、資料代など) ※宿泊費は除く



【武田雄飛丸君「暴行」でっち上げ裁判・第2回公判】

9月10日(水)13時半~ 東京地裁429号法廷にて

※傍聴券配布のため、13時までに裁判所入口脇に集合してください。



集会には、バスを出した那覇市職労など多くの労働組合が組合旗を立てて参加していました。また実行委員会が用意した送迎バスで高齢者から子連れのお母さん、若者まで様々な人が参加し、ゲート前の道路を埋め尽くしました。その数は主催者予想の2000人を大きく超え3600人。さらに、用意したバスに乗れなかった人も数百人いたそうです。

現場は怒りで満ちあふれ、高揚していました。基地建設反対のプラカードとともに、安倍弾劾のプラカードも多くありました。ゲート前道路を通ったトラックの運転手さんも、運転しながらスマホで熱心に集会を撮影していました。

ゲート前で自治会が掲げた沖大旗にも注目が集まりました。沖大OBの女性が「沖大だけ自治会が無いなんて寂しいわね」と話してきたので、「今年5月に自治会を再建しました」と答えるととても喜んでくれました。6月頃、門前で演説する私に弁当をカンパしてくれた男性とも再会できました。集会中のシュプレヒコールでは、参加者全員が怒りを一つにし、「辺野古基地建設絶対反対」の声をあげました。

労働者人民の力強さに感動する一方、集会主催者には、集まった人々の力を闘争主体と位置づけず、11月の県知事選の応援団に押しとどめる姿勢をありありと感じました。集会発言の多くが議員であり、司会は「辺野古の闘いは県議団に支えられている」と議員団を持ち上げたり、翁長那覇市長擁立を掲げるかりゆしグループCEOの平良朝敬(島ぐるみ会議共同代表)を「オール沖縄の象徴」と持ち上げたりしていました。しかし、翁長こそ労働者階級を分断する「県外移設」を掲げ、民営化・外注化や労組破壊を進めている張本人です。戦争を止め、基地を無くす力は労働者・学生です。労働者・学生の闘いを圧殺する連中にどうして基地建設を止める力があるのでしょうか。

沖縄大でも、当局が「『労働運動と学生運動の力で沖縄を「国際連帯＝革命の島」へ』と主張する団体と、沖縄の大衆運動、市民活動との異質性について丁寧に学生の皆さんに伝えていきます」なる文書を出し、自治会運動に敵対しています。

新聞で「基地建設反対」を表明する教授たちが、キャンパスでのビラまき一切禁止の学則をつくり、「基地反対」集会を行った私を処分しています。「戦争か革命か」が問われる中で、沖大・仲地博学長や法政大・田中優子総長のように、「戦争反対」と言いながら崩壊する資本主義を延命させるために職場やキャンパスの闘いを圧殺する連中は安倍政権と一体で戦争を進める者です。

基地建設と戦争を止める力は、こうした連中と闘い、労働者・学生が団結する中にあります。8・17集会が示したように、労働者・学生が国境

をこえ、職場・キャンパスから「戦争協力拒否」で闘えば、戦争は1秒も進められません。

沖大自治会は、学生を抑圧し分断する処分・学則改悪と闘い、沖大から戦争反対・辺野古基地建設阻止の総決起をつくり出すために闘います。IJB S労組など闘う労働組合と連帯し、保育所民営化反対・非正規職撤廃を掲げて北中城村議選を闘う宮城盛光さんを支援して闘います。何より、沖大生と全国学生のみなさん！ 奪還された法大・武田君とともに全学連大会に大結集しよう！ 革命に向かって団結を打ち固めよう！

全学連大会結集の呼びかけ①

◆法政大学4年・A

激動する社会情勢の中、私達若者は今、岐路に立たされている。そう思います。グローバル化による競争激化。また所得格差により、少子化など、懸念される点が増えているのではないのでしょうか。私達若者が自ら変えていかなければ、これからもっとシビアな現実を待ち受けることになると思います。だからこそ、社会で起きてる事実を知るべきです。そこから自分達は何をすべきなのか考え、行動しなければなりません。若者皆で考えましょう。

◆福島大学4年・F

全国学生の皆さん、こんにちは。9月3～4日に行われる全学連大会への結集を福島から呼び掛けます。7月1日、安倍政権は集団的自衛権行使容認の閣議決定を行いました。再び日本を戦争のできる国へ変えようとしています。これに反対して何万人もの人が首相官邸前に集まり戦争反対の声を叩きつけました。私たち学生もこれに続きましょう。

学生一人一人の力は小さくても、団結することで大きな力を生み出すことは可能です。先日私たちは、不当逮捕・不当起訴されていた法政大文化連盟委員長・武田雄飛丸君の保釈を勝ち取りました。これは、学生が団結して闘えば大学当局や国家権力にも勝てるということを示す画期的勝利です。武田君の法大での闘いは、首都圏を中心に全国各地の大学で、闘う学生を生み出しています。

福島では24日、「甲状腺がんの子どもが疑いを含めて103人」と発表されました。しかし福島県や県民健康管理調査検討委は未だに、「甲状腺がん増加と原発事故は関係ない」と断言しています。福島圧殺や原発再稼働に大学教授が加担している現状を、絶対に変えなければなりません。それは学生が団結することで必ず可能となります。9月3～4日は全学連大会に結集し、全国の闘う学生と議論・交流しましょう。



「『戦争・民営化』と闘おう!」、11・2労働者集会実行委が大成功!(8月24日、東京)